公表　保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表日　2026年　3月　20日

事業所名　こぱんはうすさくら春日部駅前教室

保護者等数(児童数)　24名　回収数　16件(割合66%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1		1	教室に行った際に確保されていると感じました。	子どもに分かりやすい配置を日々心掛けております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14			1	全員で何名かは分かりませんが、色々な職員の方がいらっしゃると思います。	運転の出来る職員出来ない職員といて、入社した際には可能な限り全ご家庭にご挨拶が出来るようにしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1			明るくて良いと思います。	教室内ではケガが発生しないように座って遊ぶ場所と走ったりしてよい場所を分けております。分かりづらい部分もあり、より分かりやすく出来るように職員間で相談をしております。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1			子どもの事をよく考えてくださっています。 送迎時にその日の様子をたくさん教えてくださいます。	これからもHUGを活用してご利用時の様子をお伝えしてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	12			3	面談に則った物をプリントでしてくださると思います。	計画した内容を達成できた場合、相談させていただきより成長できるよう心がけております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				日頃の様子を細かく教えていただき、逆に出来る事出来ない事に気付かされています。	これからも保護者様に多く伝えていこうと存じます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1			個人的な事も集団的な事もしていただいています。	どの曜日にご利用をいただいても経験できるようにこれからも提供してまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	5		4	地域の子ども達との交流は時間的に難しいところがあると思います。	他事業所に何件か問い合わせをしても良いお返事をもらう事がなかなか出来ず、放課後という時間の短い状況をどうするか検討しております。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	2				ご契約時に書類を元に説明させていただいております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2		1	利用している事業所の中で一番説明会や参観の機会を用意してもらっていると感じます。	当教室を利用していて良かったと思っていただける機会の準備をさせていただきたく存じます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15				様々対応をしていただいています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1			電話でも対応してくださっています。	お困り事や聞いて欲しいだけでも結構です。ご連絡ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2	2	3		保護者参観を定期的に開催したいとは考えておりますが、どうしても学校の長期休業時でない限り難しく、兄弟支援はまだ先になってしまっている状況です。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15				時々難しいような対応にも柔軟に受け入れていただいています。	状況次第とはなりますが、多く対応出来ればと存じます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15				HUGを有効活用して色々と連絡をくださいます。	これからも何気ない一コマも送ればと職員一同考えております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	2				毎月おたよりとして配布してございます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			3		書類等は厳重に保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1		5	職員の対応を見て訓練していると感じる。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			4		3ヶ月に1度は避難訓練を行っております。地震のみではなく、洪水や火事や不審者と身を守るべき訓練を実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	10	2		3		玄関に安全計画の冊子を置いてございます。お越しになった際には目を通していただければ幸いです。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15				熱があった時にすぐ連絡をしてくれます。	ケガや発熱時にお迎えにお越しいただきありがとうございます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	1				ありがとうございます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15				毎日行きたいと楽しみにしています。	ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15					ありがとうございます。

公表　放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表日　2026年　3月　20日

事業所名　こぱんはうすさくら　春日部駅前教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	1	配置としてはまとめて置いています。	大きい重いテーブルの必要性を感じる時があります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10	2		あとひとりほど必要だと感じています。より手厚く療育の提供が出来るのではないかと感じます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	1		トイレの入り口の段差が気になります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	1	イベント時に子ども達が期待できるよう飾り付けをしています。	イスの数が足りなくなりそうです。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12		集中力の無い子は別室にて個別療育を行っています。	もっと小さい閉鎖空間もあればいいと思います。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1		全員揃う日がなかなか無いのでどう伝えるかと考えています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	休みの日でも次の出勤時に状況が分かるように連絡しています。	もっと話し合いが必要な時もあると思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	2		確保されてはいるがその日出勤の全員が出席できなく、熱量を伝え難い状況です。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12		多くの意見を元に作成しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12		ひとりでも多くの意見をいただいて作成をして居ます。	将来的に必要となる事を優先的に伝えていきたいと思っています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		普段療育を提供している職員も参加しています。	教室で習慣的に実施している事のグレードをアップしていきたいと計画しています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	12		作成した資料を全員が目を通しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	1	各領域の活動を計画して立案しています。	保護者の方の意見を聞く場もあると嬉しい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		全員が同じことを習得し、自信を持って出来るように継続して行っています。	同じことをしつつも段階を経ていければ良いと思います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12		社会に出た時に必要となるような掃除等を集団として必ず実施しています。	どこまで何を習得していく事が必要なのか難しい場合があり、答えが出ない時もあります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12			支援開始前だけではなく1日会議の日があっても良いのではないかと思う時もあります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	2		その日に出来ればしたいところですが、送迎範囲も広く、難しい時もあります。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	1	休みの日でも状況が分かるように連絡ツールを使用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12		色々な職員が必要に応じて保護者と話しています。	頻繁に保護者の意思を汲んで、教室としてできる事も検討していきたく思います。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	11	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をするカを育てるための支援を行っているか。	12		子どもが主体、職員は手を添えるをモットーとして療育を提供しています。	発語が無い子がしっかり考えられるように大人が意見を汲み取っていきたいです。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	1	相談室に提携書を貼っています。	相談支援事業所などの一覧も貼る事も検討中です。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12			年間計画が全学校発行してほしいと思います。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	3	改めて意見交換をするのではなく、普段からしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	3		まだ就職はいないですが、他事業所に移動する際には伝えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	11	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	3		働きかけていても難しいという事が現状です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	3		期間、子どもの数と職員数で参加したくても出来ない現状です。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		HUGの活用により様子を細かく伝えています。	もっとHUGでまとめられると良いなと思っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	2	保護者の説明会を開いています。	1年に1度は親子参観をしたく思っています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12		ご契約時に説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	12			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		ひとりの意見ではなく、職員同士で話し合って助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	12			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		鍵付きロッカーに保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		絵カードや選択できるように答えを提示します。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	4		地域住民に関しては難しい部分は多々あります。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12		職員ロッカー横にマニュアルを置いています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	1	アレルギーには特に注意を払っています。	保護者からの話をいただいてその時の症状などを全職員で把握しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12		見直しや確認をしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	12		玄関に冊子を置いていつでも見られるようになっています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	1	記入してファイル保管しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		研修に取り組んでいます。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	1		